

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
 情報交流課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



市役所や税務署、飲食店や雑貨などの店舗が並んだ

魅力いっぱい 自分たちだけのまちづくり

■KIDS TOWN ぼくらのまちはら2023

「ぼくらのまちはら2023」が8月20日、い〜らで開催され、こども市民112人が参加しました。これは、「お店をつくる」「働く」「給料を払う」「買い物をする」「税金を納める」などの体験を全て子どもたちが考え、子どもたちだけの「まち」をつくるものです。

当日は、27人のこどもスタッフが約2カ月準備してきたまちに、こども市民が続々と訪れ、買い物やアルバイトをして給料をもらうなど、自分たちでつくったまちを楽しみました。

建物ってどうやって造られているのかな

■けんせつ探検隊(GasOneアリーナ牧之原 市多目的体育館(仮称) (一社) 日本建設業連合会は8月7日、市多目的体育館整備工事の現場で、建設業の役割や魅力を知ってもらう「けんせつ探検隊2023」を開催しました。

市内外から親子23人が参加し、工事現場の見学や仕事体験として石こうボードの取り付けなどを実施。ボードに自分の夢を書く作業では、親子などで話し合う姿が見られました。参加した大井栄徳くんは「クレーン車や鉄筋コンクリートなどを見るのが初めてで嬉しかった」と話しました。



建設中の体育館で説明を聞く参加者ら



空港国際線到着ロビーで自分たちで作ったCMを見る児童ら

英語での会話はドキドキ、でも Enjoy

■English Camp(イングリッシュキャンプ)2023

市内の小学5、6年生30人は8月3、4日の2日間、さざんかや富士山静岡空港で開催された「イングリッシュキャンプ」に参加しました。

これは、英語を使う楽しさや市についての魅力を深めるために開いています。児童らは2日間、英語を使いながら活動。1日目は、いろいろな国のALT(外国語指導助手)とゲームなどを行い、2日目は、市の観光大使として市の名所や観光資源を用いた「アピールCM」を作り、富士山静岡空港にて8月末まで放映されました。

バスケットで牧之原市にワクワクを

■ベルテックスとのアクションスポーツタウン協定締結

バスケットボールBリーグ2部に参戦するベルテックス静岡を運営する株式会社VELTEXスポーツエンタープライズと本市は7月27日、アクションスポーツタウン協定を締結しました。

スポーツを活用したまちづくりやにぎわい創出、子どもの健全育成など幅広い分野で連携するもの。松永康太代表取締役社長は「スポーツで日本一ワクワクする街へという理念を掲げている中で大きな一歩」と話しました。8月20日には、市内ミニバスケットチーム対象の教室を開催しました。



松永社長(左)。現在、建設中の市多目的体育館での試合も検討中

日々の鍛錬で念願の日本一に

■全国高等学校定時制通信制体育大会優勝選手が市長を表敬訪問

「令和5年度全国高等学校定時制通信制体育大会第54回剣道大会」女子個人の部において優勝した清水彩さん(榛原高校定時制4年、地頭方区)が8月21日、市役所榛原庁舎を訪れました。

同大会に3年連続出場し、最終学年に念願の初優勝を果たした清水さんは「試合前は緊張したが、会場で応援している親や先生の姿が見えたので落ち着いてできた」と喜びを報告しました。杉本市長は「剣道人口が減っている中、今後も剣道を続けて頑張ってほしい」とエールを送りました。



真剣な表情で対局する「子ども棋士」

将棋の楽しさ、未来に伝えたい

■第2回市将棋交流大会

「杏林堂杯 子ども将棋大会」が8月19日、市史料館で開催され、市内外から小学生29人が参加しました。

これは、市将棋によるまちづくり実行委員会が企画し、今回で2回目の開催。当日は、低学年と高学年の部に分かれ、参加児童は一手一手真剣に打つなど、盤上で熱戦が行われました。

また、瀬川晶司六段、北尾まどか女流二段による指導対局も行われ、参加した児童らはプロ棋士や女流棋士による指導を熱心に受けました。

交通死亡事故ゼロ連続400日を達成

■市が「交通安全優良市表彰」を受賞

市が「交通死亡事故ゼロ連続400日」を達成し、8月4日、県交通安全対策協議会から、「交通安全優良市」として表彰を受けました。

市役所榛原庁舎で行われた表彰状伝達式では、県くらし交通安全課の入戸野明課長から杉本市長に表彰状が手渡されました。

杉本市長は、「次は、800日の達成、そして、1,200日、継続日数の記録更新に向けて交通安全に取り組んでいきたい」と話しました。これまでの最長記録は、令和2年に達成した946日です。



戦争や平和などに関する展示品を見る来場者

平和とは何か子どもたちに伝えたい

■第13回市平和展

7月29日から8月11日にかけて、第13回牧之原市平和展が行われました。

これは、世界の恒久平和と、市民が安全かつ文化的な生活を営める社会の実現を願い、毎年開催されています。期間中は市役所両庁舎でポスター展示、最終日はさざんかで市民活動団体による朗読会や市遺族会による体験談などが行われました。

遺族会の池田司会長は「戦争は絶対にしてはいけない。たくさんの人と話し、いろいろな考えを知ることが平和への道」と話しました。



県くらし交通安全課の入戸野課長から表彰状を受ける杉本市長



念願の初優勝を果たした清水さん(左)